

# 自律的運用の管理

## 製造業でシステム・オーケストレーションを実現するために考慮すべき 4 つのポイント

工業施設からネットワークエッジでのデプロイメントまで、システムの管理は、先進テクノロジー、運用上の懸念、人的要因などのさまざまな要因が複雑に絡み合うことから、とりわけ困難を伴うことがあります。こうした課題に対処しようとする中で、製造企業の戦略はますます、IT プラクティスを OT (オペレーション・テクノロジー) 領域に統合することでシステム・オーケストレーションを実現するという方向へとシフトしています。その実現に向けた取り組みを始めるにあたり組織が考慮すべき重要な 4 つのポイントは次のとおりです。

### 1 必要なビジネス機能を特定する

まずは、ビジネス目標を特定し、それを達成するために必要なテクノロジー・インフラストラクチャの機能にマッピングすることから始めます。たとえば、次のような目標が考えられます。

- ▶ **コンプライアンスの維持:** テクノロジーを活用して監査可能なポリシーと適用ガイドラインを確立し、すべてのシステムが業界のサイバーセキュリティ基準および規制要件を確実に遵守するようにします。
- ▶ **コストの削減:** プロビジョニング、メンテナンス、アップグレードを自動化することで、効率を高め、人的ミスを減らします。
- ▶ **統合の単純化:** アプリケーション・プログラミング・インタフェース (API) などの共通インタフェースを通じて新しいシステムの統合を促進し、現場での新しいシステムの導入と管理に必要な運用アジリティを実現します。
- ▶ **パートナーシップの最適化:** イノベーションには、オペレーション・テクノロジー・リーダー、テクノロジー・プロバイダー、従来のオートメーション・プロバイダー間のコラボレーションが不可欠です。エコシステムを通じたパートナーシップにより、テクノロジーとプロセスの進歩に対応できます。
- ▶ **必要な場所にイノベーションをもたらす:** 既存のシステムを中断することなく新しいテクノロジーを追加できる、スケーラビリティと柔軟性を備えたモジュール式アーキテクチャを採用します。

### 2 プラットフォーム・アプローチを検討する

Red Hat® Ansible® Automation Platform によるプラットフォーム・アプローチを採用することで、ビジネス目標を達成するために必要なテクノロジーの機能を十分に発揮できる堅固な基盤がもたらされます。このアプローチは、OT リーダーに次のようなメリットをもたらします。

- ▶ **モジュール式アーキテクチャ:** Ansible Automation Platform では再利用可能なワークフローが作成できるため、多様な環境やユースケースで自動化に向けた取り組みの管理とスケーリングが単純化されます。
- ▶ **一元管理:** Ansible Automation Platform の一元管理コントロールプレーンにより、管理ワークフローにおける資産管理、スケジューリング、実行、バージョンが最適化され、効率が向上します。
- ▶ **セキュリティとコンプライアンスの重視:** Ansible Automation Platform では、許可されたユーザーがワークフローの実行とライフサイクルを管理し、精密なアクセス制御を通じて新しい資産を導入できます。このプラットフォームでは、自動化の取り組みのログと監査証跡が記録されるため、規制要件や社内ポリシーの遵守にも役立ちます。
- ▶ **統合と拡張性:** Ansible Automation Platform では、API を使った外部システムやツールとの統合により、カスタマイズや既存の OT エコシステムとの統合をサポートします。統合に関する共通の基準がサポートされているため、ユーザーは新しいテクノロジーをより迅速に導入して試してみることができ、継続的な改善が促進されます。

### 3 オープンスタンダードを活用して複雑さを軽減する

オープンソースソフトウェアは、費用対効果に優れ、相互運用可能でカスタマイズ可能なソリューションを提供することで、工業分野におけるオープンスタンダードの導入を促進します。Red Hat は、エンタープライズ向けに堅牢化されたオープンソース・ソリューションを提供し、以下を通じて OT リーダーによる現場管理を支援します。

- ▶ **導入障壁の引き下げ:** OT リーダーは、オープンスタンダードに準拠したテクノロジーの採用にあたり、高額なライセンス料金を支払うことなく、オープンソースのツールやフレームワークを使用できます。
- ▶ **相互運用性の促進:** オープンソースソフトウェアでは、オープンスタンダードへの準拠が優先されるため、異なるシステムやデバイス間に互換性がもたらされます。
- ▶ **透明性の向上:** コミュニティ主導のセキュリティ対策と監査により、オープンスタンダードに基づいて脆弱性を軽減し、産業用ソフトウェアの透明性を高めます。
- ▶ **同業者や業界団体とのコラボレーション:** オープンソースソフトウェアは、コミュニティ主導の開発と主要組織とのパートナーシップにより、オープンスタンダードの発展を加速させ、ベストプラクティスを促進します。

### 4 エコシステムを強化する

OT リーダーにとって、オープン・プラットフォーム・スタンダードに準拠したテクノロジー・プロバイダーとのパートナーシップの構築は不可欠です。Red Hat は、スタートアップ企業、システム・インテグレーター、産業用オートメーション・サプライヤーと連携して産業エッジにおける運用効率の向上に取り組み、以下を実現しています。

- ▶ **ソリューション設計における柔軟性:** オープン・プラットフォーム・ソリューションを提供するプロバイダーやインテグレーターは、長期的な柔軟性を提供し、高度なテクノロジーの統合を効率化し、多様な環境にすぐに適応できます。
- ▶ **ベンダーロックインの軽減:** オープン・プラットフォーム・スタンダードに基づくソリューションを採用することで、ベンダーロックインのリスクが軽減されます。OT リーダーは、さまざまなオートメーション・プロバイダーやインテグレーターの中から選択できるため、低価格が実現し、イノベーションが促進されます。
- ▶ **費用対効果:** オープンスタンダードに準拠したソリューションへの投資は陳腐化しにくく、必要に応じて拡張やアップグレードが可能であるため、長期的な投資対効果の向上につながります。
- ▶ **充実したエコシステムとのつながり:** Ansible Automation Platform はモジュールやコミュニティコンテンツのライブラリを通じて、幅広いテクノロジー、サプライヤー、サービスと統合できます。

#### 詳細はこちら

産業エッジにおいて、[Red Hat がどのようにイノベーションを促進できるのか](#)を解説します。

#### 今すぐ始める

Red Hat の産業エッジ機能のデモをご希望の場合は、Red Hat アカウントエグゼクティブまで[お問い合わせ](#)ください。



#### Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

**アジア太平洋**  
+65 6490 4200  
apac@redhat.com

**オーストラリア**  
1800 733 428

**インド**  
+91 22 3987 8888

**インドネシア**  
001 803 440 224

**日本**  
03 4590 7472

**韓国**  
080 708 0880

**マレーシア**  
1800 812 678

**ニュージーランド**  
0800 450 503

**シンガポール**  
800 448 1430

**中国**  
800 810 2100

**香港**  
800 901 222

**台湾**  
0800 666 052

**f** fb.com/RedHatJapan  
**X** twitter.com/RedHatJapan  
**in** linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

Copyright © 2024 Red Hat, Inc. Red Hat、Red Hat ロゴ、および Ansible は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。